



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名 スターゼン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8043 URL <http://www.starzen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中津濱 健
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中井 俊夫 (TEL) 03-3471-5521
 財務経理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	125,127	△0.0	626	165.3	1,113	161.9	531	△15.0
25年3月期第2四半期	125,137	△2.5	236	△68.9	425	△63.0	625	34.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 489百万円(△2.0%) 25年3月期第2四半期 499百万円(175.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
26年3月期第2四半期	円 銭 6.65	円 銭 —
25年3月期第2四半期	8.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	96,658	28,261	29.2
25年3月期	94,848	28,333	29.8

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 28,234百万円 25年3月期 28,303百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	7.00	7.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	△1.6	1,900	3.8	2,400	11.2	800	△7.1	10.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期2Q	87,759,216株	25年3月期	87,759,216株
26年3月期2Q	7,830,517株	25年3月期	7,822,872株
26年3月期2Q	79,930,612株	25年3月期2Q	76,400,469株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策の影響から円安株高が進み、設備投資も前期比増加に転じるなど引き続き回復傾向が続きました。

食肉業界は、国産牛肉は和牛肉の出荷が引き続き減少し、また、猛暑の影響から市況は前年を上回り高値で推移しました。国産豚肉は出荷量はほぼ前年並みであったものの輸入豚肉の減少から市況は堅調に推移しました。国産鶏肉は引き合いの強さから市況は堅調に推移しました。

輸入牛肉は円安の影響から市況は高値での推移となりました。輸入豚肉は輸入量が減少し市況は堅調に推移しました。輸入鶏肉は輸入量が前年を下回り、円安の影響から市況は前年を上回り推移しました。

このような状況の中、当社グループでは、営業体制を刷新し、営業力強化のため4月に新設した営業本部を中心に販売各社を通じて食肉および加工食品の拡売に努めましたが、食品では引き続き慎重な消費が続くなか、取扱量、売上高ともに微減となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,251億27百万円（前年同四半期比9百万円減）、営業利益は6億26百万円（前年同四半期比165.3%増）、経常利益は11億13百万円（前年同四半期比161.9%増）となりました。四半期純利益につきましては5億31百万円（前年同四半期比15.0%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

〈食肉関連事業〉

食肉関連事業の売上高は1,238億円（前年同四半期比0.1%減）となりました。

また、品目別の業績は次のとおりであります。

（食肉）

国産牛肉は平成22年に宮崎県で発生した口蹄疫や東日本大震災に由来する出荷頭数の減少、また、夏場猛暑による生育不良から相場が上昇しましたが、消費者の低価格志向が根強く高級部位を中心に販売が伸び悩みました。その結果、取扱量は前年を下回りましたが、売上高は前年を上回りました。

国産豚肉は輸入豚肉価格高騰の影響から加工原料の代替需要があったものの、取扱量、売上高ともに前年を下回りました。

国産鶏肉は前年並みの生産量、相場で推移した結果、取扱量、売上高ともに前年を上回りました。

輸入牛肉は北米産牛肉の月齢緩和措置の影響から米国産の輸入量が大幅に増えましたが、豪州産牛肉の輸入量減少や輸入価格が高いまま推移した結果、取扱量は前年を下回りましたが、売上高は前年を上回りました。

輸入豚肉は通関手続きの遅れや円安などの影響で冷凍品の輸入量が大幅に減少したことから取扱量、売上高ともに前年を下回りました。

輸入鶏肉は販売競争が激しくなったことから取扱量、売上高ともに減少しました。

これらの結果、食肉部門の売上高は999億40百万円（前年同四半期比1.8%減）となりました。

（加工食品）

ローストビーフ、ハンバーグを中心に販売は引き続き好調に推移し、取扱量、売上高ともに前年を上回り、売上高は172億49百万円（前年同四半期比13.5%増）となりました。

（ハム・ソーセージ）

工場の集約化、生産品目の統廃合による経営効率化を図った結果、取扱量、売上高ともに前年を上回り、売上高54億8百万円（前年同四半期比1.4%増）となりました。

（その他）

その他の取扱品につきましては、売上高は12億1百万円（前年同四半期比24.4%減）となりました。

〈その他の事業〉

その他の事業は主に製麺事業等で、売上高は13億27百万円（前年同四半期比8.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べて、15億68百万円増加し、577億90百万円となりました。これは、主として売掛金が減少したものの、前渡金、現金及び預金、商品及び製品が増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて、2億54百万円増加し、388億11百万円となりました。これは、主として土地が減少したものの、建物及び構築物が増加したことによります。

この結果、総資産では、前連結会計年度末に比べて、18億9百万円増加し、966億58百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べて、26億62百万円減少し、408億28百万円となりました。これは、主として買掛金が減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて、45億44百万円増加し、275億68百万円となりました。これは、主として長期借入金が増加したことによります。

この結果、負債合計では、前連結会計年度末に比べて、18億81百万円増加し、683億96百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて71百万円減少し、282億61百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、86億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億85百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果、使用した資金は22億1百万円（前年同四半期は10億2百万円の収入）となりました。

これは主に、売上債権の減少額52億55百万円があったものの、前渡金の増加額46億1百万円および仕入債務の減少額30億17百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果、使用した資金は14億71百万円（前年同四半期は12億55百万円の支出）となりました。

これは主に、固定資産の取得による支出19億55百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果、得た資金は51億13百万円（前年同四半期は19億4百万円の収入）となりました。

これは主に、長期借入れによる収入54億61百万円（純額）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成25年5月13日の決算発表時に公表しました業績予想を修正いたしました。

なお、当該予想に関する詳細につきましては、平成25年11月5日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,865	9,380
受取手形及び売掛金	29,832	24,581
商品及び製品	11,584	12,724
仕掛品	383	440
原材料及び貯蔵品	1,213	1,528
その他	5,568	9,250
貸倒引当金	△224	△115
流動資産合計	56,222	57,790
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,629	12,172
土地	9,480	9,168
その他（純額）	5,965	5,917
有形固定資産合計	27,075	27,258
無形固定資産		
のれん	1,201	1,136
その他	541	546
無形固定資産合計	1,743	1,683
投資その他の資産	9,739	9,869
固定資産合計	38,557	38,811
繰延資産	68	55
資産合計	94,848	96,658

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,303	12,288
短期借入金	14,530	15,504
未払法人税等	552	358
賞与引当金	1,167	1,005
その他	11,937	11,671
流動負債合計	43,490	40,828
固定負債		
社債	4,100	4,100
長期借入金	14,723	19,519
退職給付引当金	1,715	1,714
その他	2,484	2,234
固定負債合計	23,024	27,568
負債合計	66,514	68,396
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,899	9,899
資本剰余金	10,915	10,916
利益剰余金	8,221	8,193
自己株式	△1,348	△1,351
株主資本合計	27,687	27,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	531	696
繰延ヘッジ損益	272	20
為替換算調整勘定	△188	△139
その他の包括利益累計額合計	615	576
少数株主持分	30	27
純資産合計	28,333	28,261
負債純資産合計	94,848	96,658

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	125,137	125,127
売上原価	114,258	114,603
売上総利益	10,879	10,524
販売費及び一般管理費	10,642	9,897
営業利益	236	626
営業外収益		
受取利息	23	18
受取配当金	41	46
不動産賃貸料	254	240
受取保険金及び配当金	180	208
持分法による投資利益	—	94
その他	217	269
営業外収益合計	717	879
営業外費用		
支払利息	242	220
不動産賃貸費用	105	96
持分法による投資損失	73	—
その他	107	75
営業外費用合計	528	392
経常利益	425	1,113
特別利益		
投資有価証券売却益	34	5
補助金収入	97	—
受取補償金	87	5
特別利益合計	219	10
特別損失		
固定資産除却損	15	18
減損損失	55	49
投資有価証券評価損	—	3
特別損失合計	70	71
税金等調整前四半期純利益	574	1,052
法人税、住民税及び事業税	271	362
法人税等調整額	△328	161
法人税等合計	△56	524
少数株主損益調整前四半期純利益	631	528
少数株主利益又は少数株主損失(△)	5	△2
四半期純利益	625	531

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	631	528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70	162
繰延ヘッジ損益	△65	△252
為替換算調整勘定	5	48
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	2
その他の包括利益合計	△131	△38
四半期包括利益	499	489
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	494	492
少数株主に係る四半期包括利益	5	△2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	574	1,052
減価償却費	1,530	1,524
減損損失	55	49
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3	△161
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	25	△0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△271	△81
のれん償却額	30	64
受取利息及び受取配当金	△64	△65
持分法による投資損益 (△は益)	73	△94
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	3
投資有価証券売却損益 (△は益)	△34	△5
支払利息	242	220
固定資産除却損	15	18
売上債権の増減額 (△は増加)	1,345	5,255
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△949	△1,512
受取補償金	△87	△5
補助金収入	△97	—
前渡金の増減額 (△は増加)	△1,150	△4,601
仕入債務の増減額 (△は減少)	506	△3,017
その他	△110	△186
小計	1,629	△1,544
補償金の受取額	115	5
補助金の受取額	30	20
利息及び配当金の受取額	99	107
利息の支払額	△239	△223
法人税等の支払額	△632	△567
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,002	△2,201
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△120	△149
定期預金の払戻による収入	178	120
投資有価証券の取得による支出	△10	△10
投資有価証券の売却による収入	39	14
固定資産の取得による支出	△1,386	△1,955
固定資産の売却による収入	9	288
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	5	168
長期貸付けによる支出	△50	△1
長期貸付金の回収による収入	87	92
子会社株式の取得による支出	△30	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△6	—
その他	29	△38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,255	△1,471

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△88	974
長期借入れによる収入	6,000	8,260
長期借入金の返済による支出	△2,739	△2,798
リース債務の返済による支出	△343	△365
社債の償還による支出	△400	△400
自己株式の取得による支出	△5	△4
自己株式の売却による収入	5	2
配当金の支払額	△522	△555
その他	△1	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,904	5,113
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	44
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,657	1,485
現金及び現金同等物の期首残高	7,241	7,163
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,898	8,648

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社は、生産肥育から食肉の処理加工、製造、販売に至るまでの事業を主に国内で行う「食肉関連事業」を中心に事業活動を展開しており、報告セグメントは「食肉関連事業」のみであるため、セグメント情報の記載を省略しております。